

宮城県感染症発生動向調査情報

令和05年02月09日発行

2023.1.30 ~ 2023.2.5 - 第5週 -

1. 集計

上段は患者発生数, 下段は定点当たり

疾病	保健所					仙台市	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼		患者数	累計	第2週	第3週	第4週	第5週
水痘		2 0.20					2 0.03	24				
流行性耳下腺炎	1 0.25				1 0.50		2 0.03	5				
感染性胃腸炎	31 7.75	69 6.90	127 18.14	50 6.25	2 1.00	305 11.30	584 10.07	1,829	◎	◎	◎	◎
手足口病	1 0.25						1 0.02	5				
伝染性紅斑							0 0.00	5				
突発性発しん	1 0.25		1 0.14		2 1.00	8 0.30	12 0.21	74				
ヘルパンギーナ							0 0.00	0				
インフルエンザ	74 10.57	45 2.81	16 1.45	35 2.69	5 1.25	177 4.02	352 3.71	1,253	◎	◎	◎	◎
咽頭結膜熱						2 0.07	2 0.03	37				
流行性角結膜炎				1 1.00		1 0.17	2 0.17	10				
急性出血性結膜炎							0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10 2.50	5 0.50		2 0.25		2 0.07	19 0.33	72			○	レ
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)							0 0.00	1				
無菌性髄膜炎							0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎						1 0.20	1 0.08	3				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0 0.00	0				
RSウイルス感染症	10 2.50	1 0.10		3 0.38		7 0.26	21 0.36	135		○	○	レ
感染性胃腸炎(ロタウイルス)							0 0.00	0				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)											
	川崎病											
	不明発疹症					1						

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※ 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 3例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))

石巻管内 女性1名(第4週)
仙台管内 男性1名
結核(無症状病原体保有者)
塩釜管内 男性1名
大崎管内 女性1名(第4週)
仙台管内 女性1名(第2週)

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症

塩釜管内 男性1名(第3週, O型不明)

4類感染症: 報告なし

5類感染症: 後天性免疫不全症候群

仙台管内 男性1名
梅毒
仙台管内 男性1名, 女性1名(2022年第52週)

新型インフルエンザ等感染症: 新型コロナウイルス感染症(患者総数)

宮城県(仙台市を除く) 2,804名
仙台市 1,894名

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[インフルエンザ]

仙南管内で注意レベルを超えました。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

新型コロナウイルス感染症患者より

気仙沼管内 第5週採取分 SARS-CoV-2 5件

インフルエンザ患者より

仙南管内 第3週採取分 インフルエンザA/H3 3件
石巻管内 第4週採取分 インフルエンザA/H3 2件
気仙沼管内 第3,4,5週採取分 インフルエンザA/H3 5件

感染性胃腸炎患者より

仙南管内 第3週採取分 ノロウイルスG I 群 4件
大崎管内 第4週採取分 ノロウイルスG II 群 4件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	中間報告		
	確定 第2週採取分	中間 第3週採取分	報告 第4週採取分
インフルエンザウイルスA(H3)	1件 (1.9~1.15)	0件 (1.16~1.22)	0件 (1.23~1.29)
単純ヘルペスウイルス	2件	0件	0件

4. 今週のコメント

【新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ】

県内の第5週の新型コロナウイルス感染症患者数は4,698名と引き続き減少しています。一方で、インフルエンザ患者数は352名で前週とほぼ横ばいですが、仙南管内で定点あたり10.0を超えたため、県は本日インフルエンザ注意報を発令し、予防対策の徹底を呼びかけています。

新型コロナウイルス感染症の予防対策はインフルエンザにも有効ですので、三密の回避、手洗い、効果的な換気など基本的な感染対策の徹底を引き続きお願いいたします。

【感染性胃腸炎】

県内の定点医療機関からの患者報告数は前週の473名から584名に増加し、特に大崎管内の患者数が多く、警報基準値に迫っています。4歳以下の乳幼児が全体の約2/3を占め、第3-4週の保育施設の集団感染事例からいずれもノロウイルスが検出されています。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、嘔吐、下痢などを主な症状とし、例年、冬季に流行のピークを迎えることから、今後の動向に注意が必要です。感染者の便や吐物の処理には次亜塩素酸ナトリウム溶液(薄めた塩素系漂白剤)し、調理・食事前の手洗いなど、日常生活での予防対策を徹底してください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

